

長野の林業

令和2年6月10日発行
長野の林業編集委員会

No.365

もくじ



特集 ICTを活用したスマート林業に向けて……………2

お知らせ……………旬の山菜を楽しもう／林業就業支援事業の中止……………4

トピックス……………コラム 苗木を知ろう／なっとく！ 森林経営管理制度……………5

お知らせ……………林業労働災害防止対策の推進……………6

県森連だより……………7

長野県の木材市況……………8



ヒノキ玉のプールで遊ぶ子どもたち
丹波島こども園(長野市)



スギのテーブルと椅子でくつろぐ子どもたち
こどもの森幼稚園(長野市)



県産材で木質化された空間で遊ぶ子どもたち
白玉蘭(もくれん)(長野市)



ヒノキのおもちゃで遊ぶ子どもたち
上高井保育園(須坂市)



ヒノキの玉子で遊ぶ親子
(株)熊木住建 and LIFE(長野市)



県産材で木質化された空間で遊ぶ親子：
(株)熊木住建 and LIFE(長野市)

信州の木で豊かな心を育む！

今年で3年目を迎える「子どもの居場所」木質空間整備事業は、保育園や幼稚園、また児童センターなど、不特定多数の子どもたちが利用する施設に、長野県産材による木造・木質化や、調度品、おもちゃを設置する経費の一部を補助するもので、県の森林づくり県民税(森林税)を財源としています。

木に包まれた空間は、木の持つ香りや木目の美しさなどによって、室内にいる人に安らぎや落ち着きを与えてくれることが科学的にも証明されています。これは、実際にその空間に長時間滞在して初めて体感できることで、子どもたちもちょっとした森林浴気分を味わうことができるかもしれません。

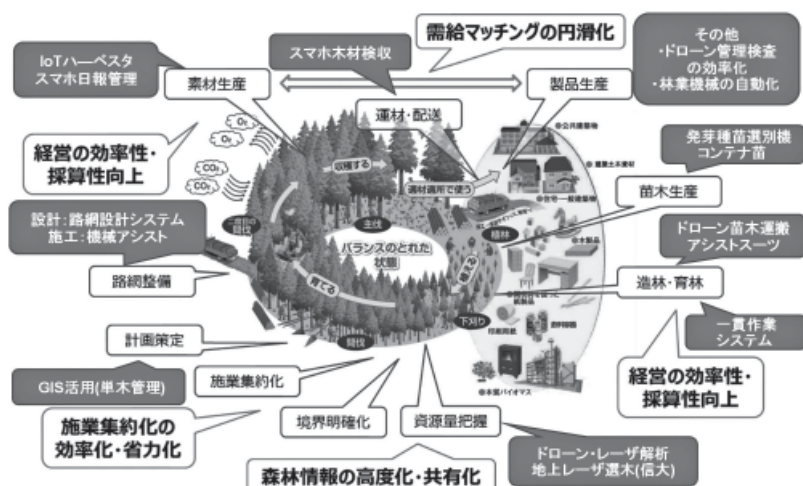
【長野地域振興局】

ICTを活用したスマート林業に向けて 新たに覚えてくる森林・林業の姿

「スマート林業」とは

「スマート林業」とは、地理空間情報やICT等の先端技術を駆使し、生産性や安全性の飛躍的な向上、需要に応じた高度な木材生産を図ることの総称として使われます。

林業は、広大な面積と長い年月を必要とする産業であり、作業工程も多岐に渡ることから、最新技術の活用による効率化・高精度化・最適化の意義は他の産業と同等、あるいはそれ以上に大きいと言えます（図-1）。さて、一口に「スマート林業」と言っても、林業は植栽から育林、伐採計画策定、素材生産、販売に至るまで様々な工程があります。「スマート林業」によってどのような効率化が図られるのでしょうか。



「平成29年度森林及び林業の動向」(第196回国会(常会)提出) 資料IV-39に追加

スマート林業による森林・林業の効率化（図-1）

植栽・育林では、既に活用が始まっているコンテナ苗や一貫作業システムのほか、充実種子選別装置による種子の質の向上、身体的負担軽減に向けた苗木運搬用ドローンやアシストスーツの開発が進められています。

伐採計画策定では、航空・地上レーザあるいはドローンを活用して、立木一本ごとの情報(樹種・材積・形状等)や詳細な地形情報を取得することで、森林の全体像のより詳細な把握が可能となりました。これらのデータは、GISを用いることで精度の高い計画策定や効率的な現場管理に活用できただけでなく、境界の明確化や施業の同意を得る際にも有効なツールとなっており、労務の低減につながっています。

素材生産・販売では、ソフトウェアや機械の自動化、アシスト機能の開発が進んでいます。例えば、IoTハブスタは、入力された材価を基に最適な造材をアシストするほか、生産した素材の生産量や位置情報がデータとしてリアルタイムで蓄積され、現場在庫の把握や需給マッチングに反映されます。造材時に曲がりや密度、強度などの測定を行うことでより多くの情報を収集する機能についても開発が進められています。路網開設においては、支援ソフトを活用した効率のよい設計、掘削機械のアシスト機能を用いた施工が始まっています。

この他にも、これまで紙で行っていた木材検収及び日報管理にスマートフォンを活用する取組や、通信機器を整備し、林内でも作業員の連絡体制を確立することで労働災害の低減等を図る取組も進められています。

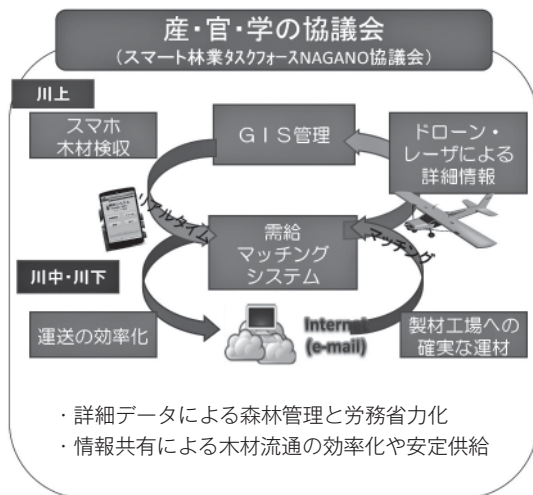


ドローンレーザ計測による林内の断面図

模索が始まった、地域ごとの「スマート林業」

技術革新が進む一方で、森林・林業を取り巻く構造や課題は、地域ごとに異なっています。このため、地域の実情に即した「スマート林業」の確立に向けて、各地で模索が始まっています。令和元年度、長野県の「スマート林業実践対策」では、長野県を含む7つの地域でICT等を活用した効率化や高精度化等の検証が実施されました(表1)。

長野県では、産・官・学それぞれの構成員とした「スマート林業タスクフォースNAGANO」により、技術の実証と普及を進めています。技術の実証については、ドローン等によって得られた単木情報を施業に活用するとともに、既存の航空レーザ計測データも合わせてGISシステムで運用することにより森林調査や計画立案の効率化を進めています。また、スマートフォンを用いた木材検収システムの導入



長野県における「スマート林業」

林業作業	技 術	石川 県	長野 県	愛知 県	山口 県	熊本 県	福岡 県	和歌 山県
境界明確化	準天頂衛星による位置精度向上 空中写真立体画像協会候補図		○				○	
資源量管理	ドローン森林資源量調査 全天球写真 航空レーザ計測データ(既存) 航空レーザ計測データ(新規) 地上レーザ		○		○	○		
その他 (情報基盤)	森林クラウド	○				○	○	
施業計画・ 提案	経済林ゾーニング 施業提案システム(タブレット・GIS) 素材生産計画・森林管理GIS		○		○	○		○
伐採・造材 集材・運搬 検知	ハーベスタ検知機能 位置把握による集材・配車の効率化 木材検収システム		○		○	○	○	○
路網整備	路網設計・支援ソフト				○	○		
生産性管理	日報管理システム(スマホ等アプリ)				○	○		
機械全般	林業機械の工程管理 林業機械PCへの位置表示				○	○		
販売・流通	需給マッチング関連システム	○	○	○	○	○	○	○

各地域の「スマート林業」の取組

を行い、労務の省力化を図るとともに、それぞれの検収情報を需給マッチングシステムに反映し、運送コストの削減を図っています。

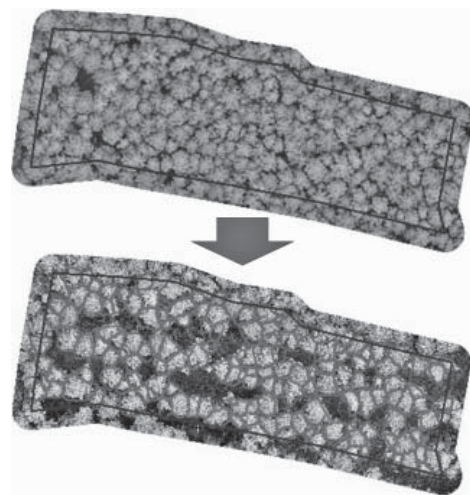
この他にも、多くの資源があるにも関わらず針葉樹と比較して利用が進んでいない広葉樹について、ドローンや衛星データを用いた広域の資源量分析(樹種・材積等)と施業方法の検討を進めています。

長野県以外の6地域でも、それぞれの地域特性に応じた取組が進められています。例えば、石川県では、ドローン等により収集した情報を境界明確化や施業提案に活用しているほか、IoTハーベスタを活用した需給マッチングシステムの構築にも力を入れています。山口県では、ICT機器を活用した情報収集とシステム化により、立木在庫・生産現場・原木在庫の「見える化」を行い、生産コストの適正化を進めています。

現在の「スマート林業」の姿は、十年前には想像も出来ませんでした。昨今の目覚ましい技術の進歩を鑑みると、おそらく十年後の世界もまた、今は想像できないものとなっているのではないのでしょうか。技術革新による作業の効率化・高度化・最適化は、生産性の向上だけでなく安全性の向上にも繋がるものと期待されています。長野県では、今後も新たな技術の実証を進めるとともに、全県への普及を目指し、技術研修など人材育成に取り組んでまいります。

引用：令和元年度スマート林業構築普及展開事業報告書

【信州の木活用課】



間伐施業地における樹冠の比較
(上図：伐採前、下図：伐採後)
間伐前後を比較することで、伐採樹種・本数・材積等を把握できます。

旬の山菜を楽しもう

「ハチク（淡竹）編」

信州人にとって、山菜は信州の季節を感じさせる味覚です。タラノメ、コシアブラ、モウソウチクなど直売所だけでなく、最近ではスーパーにも様々な山菜が並ぶようになりました。6月は、ハチクやネマガリタケなど主に北信で採れるタケノコが出回る季節です。今回はハチクについて紹介します。

【淡竹】ハチクは北海道南部以南に分布し、耐寒性があるため日本海側に多く、モウソウチクより見た目がほっそりしたタケノコです。ちなみに勢いのあることを指す「破竹の勢い」の破竹とは別物とのこと。あくも少なく朝採りなら水で茹でるだけで大丈夫です（ただし収穫から時間がたったものは糠であく抜きしたほうが良いそうです）。淡泊な味で炊き込みご飯、味噌汁、煮物、天ぷらと様々な調理方法で美味しく食べられます。

淡竹のメンマ炒め煮

- 材料** ハチク 5本 ゴマ油 適量 水 80cc 中華だし 小さじ1
酒 大さじ1 醤油 大さじ3 みりん 小さじ1
- 1 ハチクを皮ごと10分ほど茹でる。
 - 2 茹でたハチクを一口大に切りゴマ油で炒める。油が回ったら、水、調味料を加え汁気が無くなるまで弱火で煮る。
 - 3 汁気が無くなったらゴマ油を回しかけて出来上がり。

お好みで、ラー油をかけるとピリ辛メンマになります。ご飯、麺、お酒のおともどうぞ。

コロナ禍の影響もありどうやら自炊が増えている昨今、ハチクやネマガリタケを買ってきて、自宅でタケノコ料理に挑戦されてはいかがでしょうか

【信州の木活用課】

林業就業支援事業ができなくなりました

（一財）長野県林業労働財団

当財団では、林業の担い手を確保するため長野県と連携して、林業労働力の確保の促進に関する法律（以下労働法という）に基づき林業労働力確保支援センターとして業務を実施しています。

林業就業支援及び「緑の雇用」事業については、全国森林組合連合会から当財団が受託する形で実施していました。しかし林業就業支援事業については、厚生労働省の発注を全国森林組合連合会が受託できなくなったことから、今後三カ年間は同事業に係る業務ができなくなりました。

本年度の林業就業支援に係る当財団の取組について、皆様にお知らせいたします。

表のとおり共同就職説明会を除き、実施しない予定でいます。一日相談会については、内容を変更して実施できないか検討中です。共同就職説明会と併せ、開催日程等がはつきり致しましたら、皆様にお知らせいたします。

なお、全国森林組合連合会に代わって事業を受託した、株式会社エヌアイエスプラスによる林業就業支援講習（一日相談会や十五日講習等）や、雇用管理者研修会、林業就業支援地域アドバイザーによる相談・指導・助言等は、別途、案内があるものと思われます。

「緑の雇用」事業及び林業就業促進資金貸付事業等は実施して参りますので、今後とも何卒、ご理解とご協力をお願い申し上げます。

就業支援に係る実施予定

区分	1日相談会	15日講習	雇用管理者研修会	共同就職説明会	相談・指導
従来	2回	1回	2回	2回	巡回指導
本年度	実施しない	実施しない	実施しない	2回（予定）	相談のみ

コラム 苗木を知ろう！ (第5回)

造林コスト低減のために求められる苗木とは

林業総合センターでは、林家の収益性向上のため、また日本林業の競争力向上のために、造林コストを低減する施設技術を検討しています。また、そのためにはどのような苗木を使えばいいのか、どのような苗木を生産すればいいのかについても検討を進めています。そこで今回は、「造林コスト低減につながる苗木」とは何か、考えてみましょう。

① **活着が良く枯れにくい苗木**：確実に活着し、補植が必要なくなれば、結果的に低コストになります。近年利用拡大が進んでいるコンテナ苗は、培土中に根が発達しているため、真夏や厳寒期以外なら植栽が可能で、高い活着率が期待できます。

② **植えやすい苗木**：最近では「木を植えた経験がない」という作業員の方も多い中、簡単に植ええられることは重要です。これもコンテナ苗の特徴のひとつです。円筒形の根鉢が納まる植え穴を空けるだけで簡単に植えられます。

③ **樹高成長が速い苗木**：植栽した苗木がいち早く成長し、競合植生高を超えることができれば、下刈り年数を短くすることが出来ます。コンテナ苗の初期成長は、裸苗に対して確実な優位性は認められていませんが、コンテナ苗の培土に超緩効性の肥料を初めから入れておくことによって植栽後の成長を促進することも可能になります。また、初めからサイズの大きい「大苗」を植えることにより、下刈り年数を一、二年減らせることも明らかになってきています。

④ **運搬が楽な苗木**：今の再造林地は林道や作業道が整備されていることが多いので、人が持ち歩く距離は以前ほど長くはないですが、苗木が重ければ作業者の負担は大きくなります。カラマツのコンテナ大苗の重量は、裸中苗の約五倍です。

⑤ **価格が安い苗木**：価格に見合うメリットがなければ低コストにはなりません。コンテナ苗の価格は、同サイズの裸苗の約2倍です。植栽から下刈りまでトータルで考えると、現時点の試算では「裸大苗を適期に植えて下刈り年数を減らす」ことが最も低コストです。

以上のように、コンテナ苗には様々なメリットがあるとはいえ、単純に低コストにつながるものではありません。しかし、裸苗に比べて施肥や灌水、コンテナ形状などに改良を加えることが可能で日々進化しています。今後もコンテナ苗に注目していただければと思います。

【林業総合センター 育林部】

表 カラマツ苗木の特徴と価格

苗種	規格	活着	植えやすさ	樹高成長	運搬	重量 ^{※1} (g/本)	単価 ^{※2} (円/本)
裸苗	中(35~50cm)	○	○	○	◎	55	86.0
	大(45~60cm)	○	△	◎	○	70	92.0
	特(60cm~)	○	▲	◎	△	100	94.0
コンテナ苗	中(25~45cm)	◎	◎	○	△	130	187.0
	大(50cm~)	◎	◎	◎	▲	260	203.5

※1 試験地に植栽した苗木の実測平均値。コンテナ苗の根鉢容量は、中150cc、大300cc。
※2 令和元年度産県内造林用苗木生産者標準価格表(長野県山林種苗協同組合)による。

なつく！

森林経営管理制度

その2

「新たな森林管理システムである「森林経営管理制度」などの疑問に森林経営管理支援センターがお答えします」

Q 森林経営管理制度について教えてください。

A 平成三十一年四月からスタートした森林経営管理制度は、民有林のうち、現に経営管理が行われていない森林について、市町村が森林所有者の委託を受け経営管理することや、意欲と能力のある林業経営者に再委託することにより、林業経営の効率化と森林の管理の適正化を図る制度です。

また、森林所有者の一部が不明な森林や、森林所有者の全部が不明な森林がある場合は、登記簿や戸籍簿、住民票等の情報のほか、知ることができている森林所有者等からの情報提供を踏まえ、不明森林共有者や不明森林所有者を探索することとしています。なお、探索をしてもなお不明な場合は、その旨及び定めようとする経営管理権集積計画を公告することにより市町村がその森林を管理することが出来ます。

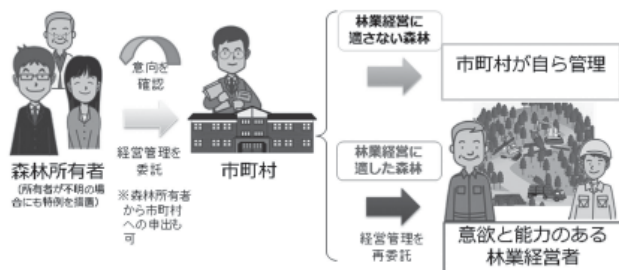
【森林政策課】

森林経営管理制度に関するお問合せは

長野県林務部森林政策課森林経営管理支援センター

電話 0269-2305-7264(直通)

E-mail: shinin-kanri@pref.nagano.lg.jp





令和2年度（6月～）林災防講習会等 開催日程をお知らせします！

年月日	講習会名	開催場所	募集人員
R2. 6. 10～11	伐木特別教育	県森連 北信木材センター（長野市穂保）	30名
R2. 6. 15	刈払機取扱	長野県自治会館（長野市西長野）	50
R2. 6. 16	補講（則36. 8）（2. 5h）	長野県自治会館（長野市西長野）	100（AM50, PM50）名
R2. 6. 23	刈払機取扱	浅間温泉文化センター（松本市）	50
R2. 6. 29	補講（則36. 8-2）（5. 0h）	県林業総合センター（塩尻市片丘）	30
R2. 6. 30	補講（則36. 8）（2. 5h）	伊那商工会議所（伊那市）	100（AM50, PM50）名
R2. 7. 13	刈払機取扱	県林業総合センター（塩尻市片丘）	30名
R2. 7. 15～16	伐木特別教育	県林業総合センター（塩尻市片丘）	30名
R2. 7. 17	補講（則36. 8）（2. 5h）	塩尻総合文化センター（市役所近く）	100（AM50, PM50）名
R2. 7. 20	補講（則36. 8）（2. 5h）	長野県自治会館（長野市西長野）	100（AM50, PM50）
R2. 7. 22	補講（則36. 8）（2. 5h）	塩尻総合文化センター（市役所近く）	100（AM50, PM50）
R2. 8. 5～7	伐木特別教育（3日間）	県林業総合センター（塩尻市片丘）	30
R2. 8. 17	刈払機取扱	県林業総合センター（塩尻市片丘）	30
R2. 8. 20～21	木材加工作業主任者	県林業総合センター（塩尻市片丘）	30
R2. 8. 25	補講（則36. 8）（2. 5h）	浅間温泉文化センター（松本市）	100（AM50, PM50）
R2. 9. 2～4	車両系特別教育（学科）	県林業総合センター（塩尻市片丘）	各20
R2. 9. 7	刈払機取扱	長野県自治会館（長野市西長野）	50
R2. 9. 9～11	伐木特別教育（3日間）	県森連 北信木材センター（長野市穂保）	30
R2. 9. 14～15	機械集材装置運転	県林業総合センター（塩尻市片丘）	30
R2. 9. 23～25	車両系特別教育（実技）	県林業総合センター（塩尻市片丘）	各20
R2. 10. 6	刈払機取扱	県林業総合センター（塩尻市片丘）	30
R2. 10. 16	造林作業指揮者	県林業総合センター（塩尻市片丘）	30
R2. 11. 16～18	伐木特別教育（3日間）	県林業総合センター（塩尻市片丘）	30
R2. 12. 2～4	伐木特別教育（3日間）	県林業総合センター（塩尻市片丘）	30
R3. 1. 12	刈払機取扱	県林業総合センター（塩尻市片丘）	30
R3. 1. 18	リスクアセスメント実務	県林業総合センター（塩尻市片丘）	30
R3. 2. 5	刈払機取扱	県林業総合センター（塩尻市片丘）	30
R3. 2. 17～19	伐木特別教育（3日間）	県林業総合センター（塩尻市片丘）	30

※上記計画は、開催日・場所等を変更する場合がありますので、予めご承知おください。
 ※募集人員欄に「名」の記載のあるものは、中止された方を優先したため、既に定員に達しています。
 ※8月以降に実施する「補講」受講者は、8月1日から補講実施日までの間、伐木の修了証は無効となります。
 補講実施の日から、新たな3日間講習と同等と見なされ、有効となりますのでご留意ください。
 ※人数によっては出張講習に応じますので、お気軽にご相談ください。

【問合せ先】林災防 長野県支部 ☎026-227-0327

林業・木材製造業労働災害防止協会（林災防）長野県支部では、林災防本部及び長野労働局の要請等に従い、本部の13次災防計画に基づく労働災害減少へ向けた取り組みを行うこととしています。
 具体的には、事業場への安全パトロール、リスクアセスメント導入のための集団指導会及び振動障害予防のための特殊健診への補助の実施、並びに各種安全研修会及び安全大会への参加等です。
 当支部が開催する講習会は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため三ヶ月間中止していましたが、感染防止対策に万全を期した上で、六月から左記の表のとおり再開する計画としました。

令和二年度の林業労働災害 防止対策の推進について



～環境にやさしく、温かみのある木材～
 長野県産材で木のフェンスを作りませんか

木塀、ウッドデッキを対象とした助成金制度があります。

お問い合わせは 長野県木材協同組合連合会

T E L : 026-226-1471 E-mail : nkenmokuren@siren.ocn.ne.jp へ



統計からみる森林組合

— 森林資源の循環利用 —

長野県の森林面積と 森林組合員所有森林面積

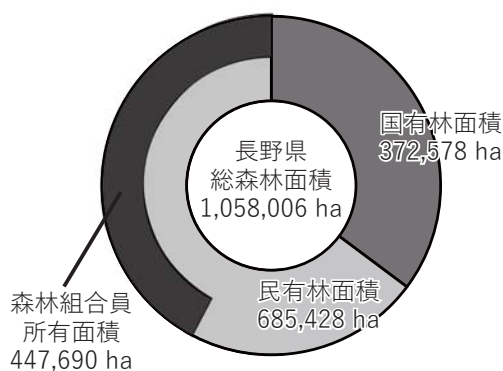


図1 長野県の森林面積（平成30年度）

長野県の平成30年度林業統計書によると、平成30年時点での長野県の森林面積は約100万haで、長野県の総面積の約78%に及んでいます。このうち約68万haが民有林となっています。また、森林組合員が所有する森林は44万7,690haとなっており、これは、長野県の民有林面積の約65%、総森林面積の約42%を占めています（図1）。

森林組合の素材生産量

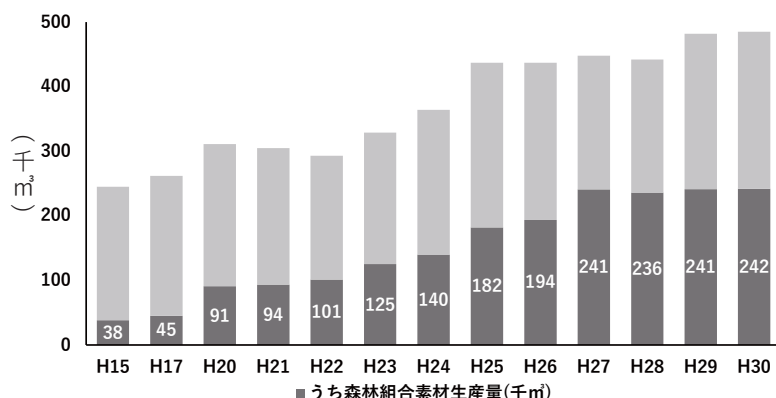


図2 長野県全体の素材生産量の推移

平成15年から、長野県の素材生産量（長野県木材統計）は徐々に増加しており、平成30年には48万5,000m³となっています（図2）。これは、平

成15年の約2倍に増加したことになります。また、そのうち森林組合の素材生産量（森林組合一斉調査結果）も増加している様子が見られ、こちらも平成15年の約6倍となっています。特に、長野県全体の素材生産量に占める森林組合の素材生産量の割合は、平成27年には約54%にまで達し、森林組合が長野県の素材生産を担う重要な立場になってきているということがうかがえます。

素材生産量と新植面積

県内森林組合の素材生産量の内訳（図3）を見ると、素材生産量の増加が頭打ちとなった平成27年以降、主伐による材積が増加していることがわかります。また、新植面積は、平成15年以降減少傾向にありましたが、近年の主伐の増加とともに増加している様子が見られます。これは、伐採跡地への再造林の増加によるものと考えられます。木を伐って植える、森林資源の循環利用が進んできているようです。

森林の循環利用に 重要な役割

長野県の民有林の多くは、森林組合員の所有林であり、水源涵養や二酸化炭素の吸収源として重要な役割を担っています。

また、近年は拡大造林期に植栽した

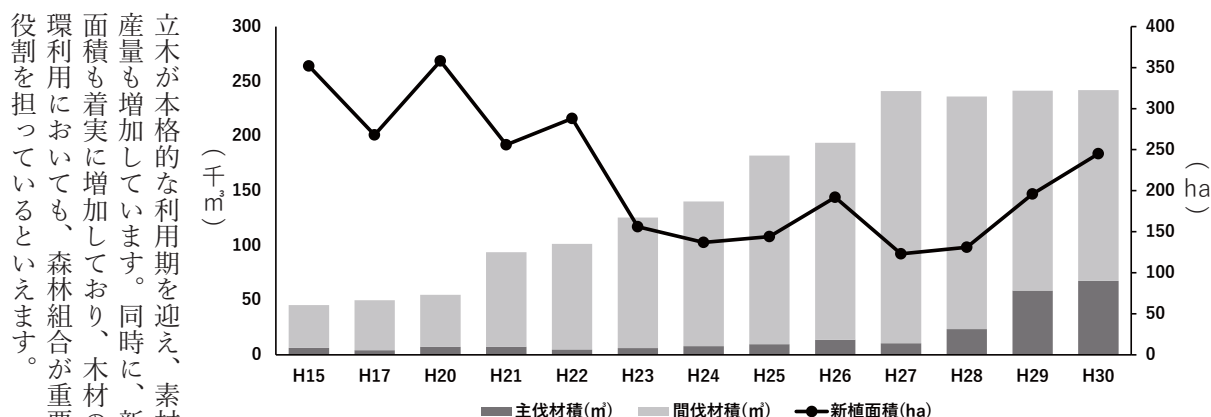


図3 森林組合の素材生産量と新植面積

立木が本格的な利用期を迎え、素材生産量も増加しています。同時に、新植面積も着実に増加しており、木材の循環利用においても、森林組合が重要な役割を担っているといえます。

長野県の木材市況

第1039回 市況表

(令和2年5月14日実施)

長野県森林組合連合会

伊那木材センター



Tel 0265-72-2684

Fax 0265-76-8759

樹種	長さ(m)	規格	末口(cm)	高値(円/㎡)	中値(円/㎡)	備考
ひのき	3.0	直	14~16	13,500	13,000	3mに造材される方はご相談下さい。
		直	18~22	14,500	10,000	
		直	24~30	15,000	11,000	
のき	4.0	直	14~16	16,000	10,000	直造材でお願いします。
		直	18~22	18,000	12,500	
		直	24~28	18,000	11,000	
		元	52上	100,000	(良材)	
すぎ	3.0	直	14~16	10,000	8,000	並材価格低迷。需要なし。伐採予定の方ご相談下さい。
		直	18~22	7,500	5,000	
	4.0	直	18~22	12,000	8,000	
		直	24~28	13,000	8,000	
		直	30上	14,000	9,000	
くらみ	4.0	直	26上	20,000		良材高値。
なら	4.0	込	30上	20,000	10,000	安定的な需要あり。
		込	14~18	12,000	9,000	
くり	4.0	直	18~22	25,000	15,000	太物、良材に高値。
		直	26~38	35,000	20,000	
さくら	3.8	直	40	30,000		
からまつ	4.0	込	20上	14,500	12,000	価格横ばい。

出品量 1,902㎡ 販売量 1,890㎡ 落札率 99.4% 買い方 32社

出品にご協力していただきありがとうございました。現在、コロナウィルス感染の拡大の影響もあり木材の価格が低迷しています。しかし、この状況のなかでも今回、地元のお客様にはヒノキの需要があり、価格は安定していました。これからの時期広葉樹、針葉樹ともに材の傷みが激しくなります。良材を伐採する予定の方はご相談下さい。尚、出材には合法認定業者の登録をお願いするとともに出材時にはその都度、合法認定番号及び伐採地と伐採箇所を詳しく記載した納品書及び伐採届の提出をお願いします。
*安全のため荷下ろし、積み込みの際には車止め、またヘルメットの着用をよろしくお願いします。

第1041回 市況表

(令和2年4月16日実施)

長野県森林組合連合会

中信木材センター



Tel 0263-77-2347

Fax 0263-77-2349

樹種	長さ(m)	規格	末口(cm)	高値(円/㎡)	中値(円/㎡)	備考
すぎ	3.0	直	16~18	11,000	9,000	3.0m×16~22cm柱取り引合いです。20cm上は4.0m造材してください。ただし4.0m材供給過多となっておりますので伐採控えてください。
	4.0	直	20~28	12,000	9,000	
		直	30上	13,000	9,000	
ひのき	3.0	直	20上	18,000	13,000	価格歩合。
	4.0	直	18~28	18,000	14,000	
		直	30上	23,000	16,000	
からまつ	4.0	込	6~13	12,000	8,000	材不足しています。細物5cm~13cm引合い強し。ご注文品お願いいたします。
		直	14~18	14,000	12,000	
		直	20上	18,000	14,000	
		曲	14~18	13,500	12,000	
		曲	20~40	14,000	13,000	
あまき	4.0	込	26~56	10,000	6,000	価格下がる。
	5.0~8.0	込	24~30	28,000	8,000	
くらみ	4.0	込	20~40	31,000	20,000	応札活発。
くり	3.0~6.0	込	14~40	35,000	25,000	
えんじゅ	5.0	一本売り	36	47,000		
なら	3.0~4.0	込	20~30	17,000	14,000	
とち	4.0	込	30~38	40,000	26,000	
かき	2.0~4.0	込	16~32	220,000	120,000	

出品量 6,287㎡ 販売量 4,951㎡ 落札率 78.7% 買い方 40社

今回の市売りも、新型コロナウイルス感染防止対策として、入札方法を一括入札で行いました。広葉樹を中心に応札活発で良材には高値が付き内容として充実した市売りとなりました。現在、杉材については需要が供給に追いついていない状況です。これから杉の伐採計画を検討中の方、センターにご相談ください。今後も皆様のご協力をお願いいたします。
尚、当連合会は合法木材に取り組んでおります。
合法木材供給事業者の認定を取得し、出荷時には合法的に伐採された木材であることのコメントと合法木材認定番号が記載された納品書の提出をお願いします。

第1073回 市況表

(令和2年5月13日実施)

長野県森林組合連合会

北信木材センター



Tel 026-295-5546

Fax 026-295-5547

樹種	長さ(m)	規格	末口(cm)	高値(円/㎡)	中値(円/㎡)	備考
すぎ	3.0	直	16~18	13,000	9,000	直造材でお願いします。
		直	20上	13,500	11,000	直造材でお願いします。
		込	8~13	5,500	4,500	
のき	4.0	直	14~20	12,500	10,000	
		直	22~28	13,000	12,000	
		直	30上	16,000	11,500	
		曲	14~18	8,000	5,500	
		曲	20上	10,000	8,000	
からまつ	4.0	込	6~13	11,000	6,000	直造材を心がけて下さい。
		直	14~18	12,500	9,000	出品願います。
		直	20上	16,000	14,000	需要あり。積極的に出品願います。
		曲	14~18	6,000	5,000	
		曲	20上	14,000	13,000	
なら	2.1		52	32,000		節なし直材
いちい	3.0		44	150,000		二股2.4×30と一山売り
くらみ	7.0		46	82,000		
けやき	7.4		70	250,000		一本単価

出品量 6,386㎡ 販売量 6,241㎡ 落札率 97.7% 買い方 51社

今回の市売りは、前回同様に新型コロナウイルスの感染防止対策として、一括入札の上、落札発表を行う方法での開催となりました。市況としましては、カラマツは依然として安定しており需要がありますので、丁寧な造材を心がけていただき、ご出品願います。
スギについては、全国的に需給バランスがとれず、だぶつきがみられます。特に4mの尺上材は売れにくい、中目良材は安定しています。
今回の広葉樹については、大径材や欠点の少ない材に高値が見られましたがケヤキは安値傾向、クルミ材とナラ直材はともに応札多く高値で推移しました。尚、これからの時期は材の劣化が早いので、広葉樹の伐採については時期の見合わせ等、検討をお願い致します。やむをえず伐採する場合は、カビや日割れに注意して造材後早めの出材をお願い致します。
今後、引き続き新型コロナウイルスの感染防止対策をしまして職員一同販売推進に努めてまいります。
【お願い】合法認定事業者の登録をお願いするとともに、出荷時にはその都度必ず「合法認定番号及び「合法木材である」コメントを記載した内容の」納品書の提出をお願いします。

第523回 木材共販市況表

(令和2年5月28日実施)



出品量 1,500㎡・買い方 10社・落札率 98.0% 飯伊森林組合木材共販所

樹種	長さ(m)	規格	末口(cm)	高値(円)	平均値(円)	平均石値(円)	備考
ひのき	3.0	直	14	9,000	7,000	1,960	
		元直	16	12,500	8,000	2,240	
		込	18~24	16,500	15,500	4,340	
		込	26~28	16,500	15,000	4,200	
		込	30上	21,500	15,000	4,200	
	4.0	中込	16~22	15,000	13,000	3,640	
		込	24~28	15,000	13,000	3,640	
		込	30上	17,500	15,000	4,200	
		元直	16~22	18,500	15,000	4,200	
		元	24~28	22,000	16,500	4,620	
すぎ	3.0	30上	34,000	26,000	7,280		
		中直	12~14	12,000	8,000	2,240	
		込	16~22	17,500	15,000	4,200	
		込	24~28	16,000	14,000	3,920	
		12下	360	300			一本売り
	4.0	18~22	10,000	8,000	2,240		
		24~32	9,000	7,500	2,100		
		込直	16~18	8,500	7,500	2,100	
		込直	20~22	9,500	8,800	2,464	
		込直	24~28	10,500	9,500	2,660	
からまつ	3.0	30上	12,500	11,500	3,220		
		6	52,000	25,000	7,000		
		込	14~22	7,500	5,500	1,540	
		込	12~14	6,500	5,000	1,400	
		込	16	8,500	6,000	1,680	
	4.0	込	18~28	12,500	11,500	3,220	
		込	30上	13,000	12,000	3,360	
		小曲り	14~30	5,000	4,000	1,120	
		直	12下	320	270		一本売り

総評
前回同様ひのき良材少なく価格やや下げ。全体に動き鈍い。
すぎ、応札少なく価格はやや下げ。
からまつ出荷少なく、引き合いも鈍い価格はやや下げ。
コロナウィルスの影響で材全体の動きは鈍く、入札参加者も少なく低調。
引き続き出荷の協力をよろしくお願いいたします。